

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成22年4月22日 (2010.4.22)

【公表番号】特表2009-531710(P2009-531710A)
 【公表日】平成21年9月3日 (2009.9.3)
 【年通号数】公開・登録公報2009-035
 【出願番号】特願2009-502804(P2009-502804)
 【国際特許分類】

G 0 1 L 5/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 L 5/00 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月22日 (2010.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

圧力又は力応答センサ素子のアレイを走査する回路であって、
制御回路であって、当該制御回路により走査される複数の圧力または力応答センサ素子を識別するための走査テーブルを受信するように構成され、前記複数の圧力または力応答センサ素子は前記アレイのうち少なくとも 1 つの圧力または力応答センサ素子を除く前記アレイのサブセットを定義し、前記複数の圧力または力応答センサ素子はユーザ定義可能である、制御回路を備え、

前記制御回路は、前記複数の圧力または力応答センサ素子のうちの前記圧力又は力応答センサ素子を個別に走査するように構成される、回路。

【請求項 2】

前記サブセットは、前記アレイの連続しないサブセットである、請求項 1 に記載の回路。

【請求項 3】

前記制御回路は、前記走査テーブルを記憶する、請求項 2 に記載の回路。

【請求項 4】

前記制御回路は、ユーザによる前記サブセットの定義を可能にするように構成される計算装置に結合されるように構成される、請求項 1 に記載の回路。

【請求項 5】

前記サブセットは、ユーザが当該サブセットの前記圧力又は力応答センサ素子を囲む 1 つ又は複数の境界を指定することによって定義される、請求項 1 に記載の回路。

【請求項 6】

前記アレイの前記圧力又は力応答センサ素子はそれぞれ、1 つ又は複数の第 1 の電極のうちの 1 つと、1 つ又は複数の第 2 の電極のうちの 1 つとの交点であり、前記圧力又は力応答センサ素子のそれぞれで交わる前記 1 つ又は複数の第 1 の電極のうちの 1 つと前記 1 つ又は複数の第 2 の電極のうちの 1 つとの間に少なくとも 1 つの圧力又は力感応材料がある、請求項 1 に記載の回路。

【請求項 7】

前記少なくとも 1 つの圧力又は力感応材料は、少なくとも 1 つの圧力又は力に感応する可変抵抗材料を含む、請求項 6 に記載の回路。

【請求項 8】

圧力又は力応答センサ素子のアレイを走査する方法であって、

(a) 走査される 1 つ又は複数の圧力又は力応答センサ素子を、前記アレイのうち少なくとも 1 つの圧力又は力応答センサ素子を除く前記アレイのユーザ定義可能なサブセットを識別する走査テーブルから読み取ることと、

(b) (a) に応じて、前記ユーザ定義可能なサブセットの前記 1 つ又は複数の圧力又は力応答センサ素子を個別に選択することと、

(c) 前記選択された 1 つ又は複数の圧力又は力応答センサ素子のそれぞれに印加される圧力又は力を示す信号を得ることと、
を含む方法。

【請求項 9】

前記走査テーブルを受信することをさらに含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

ユーザが前記ユーザ定義可能な前記アレイのサブセットを定義するためのユーザインタフェースを表示することをさらに含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記アレイの前記ユーザ定義可能なサブセットを囲む 1 つ又は複数の境界の定義を得ることをさらに含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記アレイの前記ユーザ定義可能なサブセットに対応する 1 つ又は複数の領域の定義を得ることをさらに含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

前記 1 つ又は複数の境界のうち少なくとも 1 つが不規則形を定義する、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 14】

前記 1 つ又は複数の境界のうち少なくとも 1 つが不規則形を定義する、請求項 5 に記載の回路。

【請求項 15】

前記ユーザ定義可能なサブセットは、前記アレイの連続しないサブセットを定義する、請求項 8 に記載の方法。